

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		葬祭費（後期高齢者）〔後期高齢者医療葬祭費事業〕																																																												
予算科目	款	4	保険給付費	項	1	葬祭費	目	1	葬祭費	事業番号	1																																																			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）																																																													
担当部署・課長名	保険年金 課 高齢者医療年金 係					課長名	岩野 秀夫																																																							
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 5																																																					
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書（ページ）	63																																																					
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）																																																								
	後期高齢者医療被保険者死亡時に葬祭を行った者。					後期高齢者医療被保険者数																																																								
	→																																																													
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）																																																								
2 指標の推移	被保険者の遺族の葬祭に係る経済的負担の一部軽減。					葬祭費支給率																																																								
	→																																																													
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）																																																								
	葬祭費は東京都後期高齢者医療広域連合から市が受託し、被保険者死亡により葬祭を行った者に葬儀代金の一部として、5万円を支給している。					葬祭費支給件数																																																								
3 経費	→																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>11,848</td> <td>12,026</td> <td>12,281</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>%</td> <td>4.3</td> <td>4.5</td> <td>4.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目標</td> <td>②の目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7">目標値設定の考え方 申請は任意であるため、目標値の設定はなじまない。</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>件</td> <td>533</td> <td>515</td> <td>531</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	対象指標	①の数値	人	11,848	12,026	12,281			成果指標	②の数値	%	4.3	4.5	4.4			目標	②の目標値							目標値設定の考え方 申請は任意であるため、目標値の設定はなじまない。							活動指標	③の数値	件	533	515	531		
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標																																																								
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標																																																							
対象指標	①の数値	人	11,848	12,026	12,281																																																									
成果指標	②の数値	%	4.3	4.5	4.4																																																									
目標	②の目標値																																																													
	目標値設定の考え方 申請は任意であるため、目標値の設定はなじまない。																																																													
活動指標	③の数値	件	533	515	531																																																									
3 経費	事業費（実績）		円	26,550,000	25,750,000	26,550,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）																																																							
	財源	一般財源	円	0	0	0																																																								
		特定財源（国・都・他）	円	26,550,000	25,750,000	26,550,000																																																								
		（うち受益者負担）	円	0	0	0																																																								
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	時間	968.0	968.0	968.0																																																								
		所要人数（再任用）	時間	0.0	0.0	0.0																																																								
		職員人件費（再任用以外）	円	4,065,600	4,162,400	4,065,600																																																								
職員人件費（再任用）		円	0	0	0																																																									
事業費＋人件費		円	30,615,600	29,912,400	30,615,600																																																									
4 環境変化等	（1）開始年度		平成20 年度																																																											
	（2）環境の変化		平成20年度の制度開始時より市の事業として、被保険者の遺族の葬祭に係る経済的負担の一部軽減を目的に実施された。平成22年度から、それまでの市の事業として実施していた葬祭費事業が、東京都後期高齢者医療広域連合の事業として引き継がれた。																																																											

事業名称	葬祭費（後期高齢者）[後期高齢者医療葬祭費事業]			
担当部署・課長名	保険年金	課	高齢者医療年金	係 課長名 岩野 秀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特に無し			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】		
		①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	無し			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	無し			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	無し			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 社会保障の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 申請手続きの簡素化			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 葬祭費の給付を受けるためには、申請書、請求書、口座登録依頼書を提出することになるが、全ての書類に氏名や住所等を記載する必要があるため、これが申請者の負担となっており、度々、指摘を受けている。申請者の負担軽減を図る方法について検討していく必要がある。			